

～秋の国際宝飾展+ひとこま～



年2回、この時にしか会わない方も多し。
写真の金昇姫さん。大学教授にしてギャラリーなども運営。韓国のデザイナーを率いている。いつもお互いの作品を認め褒めあう（儀礼的ではない）。日韓交流しようね、と言いつつ果たしていない。韓流ブームというのは余り知らないが彼女達となら交流してみたい。
もう一人。BIZ News 前々号 No. 27 のドイツ人のおじさんが日本に初登場。ところが持ってきたのはなにか冴えない。日本人にはこのテのおとなしい無難なのが受けると聞いたとか。でもネ、私のお客様は違うのです。もっと明確なポリシーとパワーがあり、かつエレガント、上品でなくては。いや、日本人はまだまだだネ。あなたの欲しいのはドイツか香港においで。せっかくラクして仕入れできると喜んだのに。

～いつまで食べ続けるの～

昨秋から初夏までランチはおろしそば一筋。家にいる限りそれ以外はない。何カ月同じでも飽きない。TV で見たイタリアのオリーブ農園に通う夫婦。昼はバケットのような二つ割りの中をつぶしたトマトを手の平で切りパンの窪みに入れオリーブ油をたらす。それを25年間。ああ、やっぱりいるんだ、そういう人。で、今の私は茗荷。お気に入りの豆腐にたっぷりの茗荷、生姜、ジャコにそばつゆみたいなので食す。毎夜登場する。そして茗荷を褒め称える。ジャコと生姜が気を悪くするのではないか。茗荷、きゅうり、パプリカの一夜漬。三つ葉と浅利の鍋仕立て。これも日本人の誇りを感じる。



9月に入ってもなかなかしっとりした秋がこない。緑茶、コーヒーもまだしっくりこない（夏のお茶は鉄観音、ジャスミンになんとデトックスハーブを冷やしたもの）。赤ワインはもっと先になりそう。毒もおいしい。

～ Re-Design ～

使わなくなったジュエリーの再生。通常のリフォームと違い1からデザインを考え直す。手持ちのジュエリーはなるべく沢山お持ち下さい。再利用できるものがあるかもしれませんし、その分リーズナブルになります。

リ・デザイン



～ジュエリーを作るということ～

短くは語れないこの事。ジュエリーというものに対する考え方も私の中で変化している。美しい物をつくり人を美しくするだけではなくこの数年は優しく包み、安心と自信と幸せ感が感じられるものを作りたいと思っている。円空の粗削りの仏像のようでありたい。虚飾と言われる世界からは対極なのかもしれない。でも素材の力強さは優しさでもあり、美しく着飾らなくても美しく、自分らしさを認められる安らぎ、ほっとした心の落ち着きとぬくもり。それがまた美しさを引き起こす。と思っている。果たして私にそのような力があるのか。でも苦闘してみたい。身につけるものがその人をより上質に美しく幸せに出来なくて何の意味があるのか。

「曙又は大きな希望」



ペンダントトップ
ファイアーオパール
ダイヤ 0.05ct
エメラルド 0.07ct
ブルーオパール
ブルーサファイア
K18YG

誌上でお求めになれます
家庭画報 通販誌
「特選ファッション」
2010年冬号(10月25日発刊)
・ベリーフルーツネックレス
・マスカットのしずくネックレス
カタログ(無料)のお申し込み:
0120-919-756 (9:30~17:30)
または <http://shop.sekaibunka.com/>